

## 2022年10月度 高島屋店頭売上速報

### ■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+19.3	立 川 店	+1.9
堺 店	+1.0	大 宮 店	+2.0
京 都 店 ※	+11.5	柏 店 ※	+1.2
泉 北 店	+3.2	(株)高島屋各店計	+14.7
日 本 橋 店	+5.5	岡 山 高 島 屋	+7.8
横 浜 店 ※	+12.7	岐 阜 高 島 屋	+6.7
新 宿 店	+47.3	高 崎 高 島 屋	+5.6
玉 川 店	+9.4	(株)高島屋各店 および 国内百貨店子会社計	+14.2

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※ 京都店は「洛西店」、横浜店は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」、柏店は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高をそれぞれ含みます。

### ■ 概況

○10月度の店頭売上は、高額品が好調であることに加え、日本への入国に際する水際対策の緩和や、祝日の1日増により、

前年実績を上回りました。なお、2019年比は、同年10月の消費増税後の売上減少の影響を受けております。

店頭売上	前年比 +14.2%	2019年比 +21.8%
免税売上	前年比 +262.9%	2019年比 △34.1%
免税を除いた店頭売上	前年比 +10.7%	2019年比 +26.7%

○店舗別売上では、全店が前年実績を上回りました。

○商品別売上(当社分類による15店舗ベース)では、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、

子供情報ホビー、スポーツ、食料品、食堂が前年実績を上回りました。